

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391300114
事業所名	認知症対応型共同生活介護ひょうたん山そよ風

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入しており、回覧板で情報交換がされている。入居者は近隣の祭りや小学校のふれあい行事に参加している。「認知症サポート研修会」を開催して地域との相互関係に取り組んでいる。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2か月に1回、町内会長、民生委員、西部いきいきセンター職員が参加して開催している。活動状況報告、行事報告がされ評議されている。会議内で研修会を開き、地域の理解と支援を得る取組みがされている。	○
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市町村窓口には定期的にセンター長が出向いている。制度や研修等の情報は送付されてくる。疑問や問題点等が生じた場合は、電話で相談をしたり協力してもらう等連携を深めている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	衣替えの折やイベント、面会時などに意見等を聞くようにしている。家族の面会は週末に多く、職員は気さくに話しかけている。入居者や家族からの意見、要望をキャッチした時はフロアリーダーに告げノートに記録している。内容により速やかに申し送りノートを回覧して対応したり、ミーティングで全員で話し合い運営に反映させている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	-	-	×	○		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。